

平成16年度

「アイデアオリンピック」表彰内容

○県の施策に関する提案

区分	テーマ及び提案内容	提案者所属・職・氏名
最優秀賞	(該当なし)	
優秀賞 (1)	<p><u>小・中学校教育への支援について</u> 外部の活力を導入し、学校運営をより活性化し、教育の一層の充実を図る。</p> <p>(1) スクールサポーター(SS)制度創設 地域で学校運営に協力したいと思っている人を小中学校単位でボランティア(SS)として募集登録し、協力可能な分野で活動してもらおう。(課外授業の講師、クラブ指導、行事への協力、学校環境整備協力等)</p> <p>(2) 行政と学校のコラボレーション・モデル事業実施 保健所、福祉事務所等県出先機関毎に地域の小中学校のうち1校を選定し、モデル的に当該校と協力関係を結び、1年以上の長期で学校運営への協力を行う。(体験学習の受付、講習会等への講師派遣等)</p> <p>(3) 養護学校と小・中学校の「こころ」の交流事業の実施 障害児の世界を理解し、障害児に対する思いやりの心を育む第一歩として養護学校と近隣の小中学校が姉妹校となって様々な面で交流を図る。</p>	出納事務局出納第一課 課長補佐 本橋 秀泰
奨励賞 (3)	<p><u>県入札参加企業の育児休業等に関する制度化</u> 発注する事業参加業者に「少子化対策」に積極的に取り組んでもらうため、入札に際して、育児休業等子育て支援に取り組んでいる証明書の提出を義務化し、少子化対策を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象企業；入札に参加する従業員30人以上の事業所 ・認定方法；労働政策課が認定し、証明書を発行する <p>*提案の通りに実施することは困難だが、提案の方法に代えて子育て支援措置を講じている事業所の入札参加資格者名簿の点数を加算することは可能である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①H17, 18の入札参加資格審査で障害者雇用事業所を加点(土木) ②物品調達等入札参加資格においてISO14001認証取得者に加点(出納) 	保健福祉部子ども家庭課 主任 照沼 智
	<p><u>県道の標識について</u> 道路脇の県道の標識は、ナンバーは大きく表示されているが、路線名を示す「県道〇×線」という文字は小さく、走行中の車からは読み取り不可能である。現在地を知る上でも路線表示は便利である。このため、県道標識ナンバーと路線名の位置関係交換と路線名表示文字拡大を行う。</p>	土木部用地課 係長 藤田 悟史 主任 菊池 龍一
	<p><u>「茨城のリサイクル製品」ブランド化</u> 本県においては各種リサイクル推進施策がなされているものの、リサイクル製品そのものに無味乾燥なイメージがある上、お役所的内容の広報をお役所的手法で行っているため、県民に十分浸透していない。このため、リサイクル製品のイメージアップのための広告内容、広報手法等を若手職員から公募し、従来の殻を破る画期的広報を行い「茨城のリサイクル製品」のブランド化を図る。</p>	下館土木事務所 主事 郡司 真一

○業務や事務の改善等に関する提案

区分	テーマ及び提案内容	提案者所属・職・氏名
最優秀賞	(該当なし)	
優秀賞 (1)	<p>改正条例等の明瞭化 条例や規則を改正し、県報に登載する場合、改正部分のみ(「」)で記載しており、県民にとってわかりづらい。 改正条例等を県報登載する場合、改正部分を下線で示した新旧対照表に登載し、分かりやすい県報を発行する。 カギ括弧表示が法で決まっている場合も参考に新旧対照表に登載する。</p>	県立医療大学 主事 助川 達也
奨励賞 (4)	<p>県民のための分かりやすい案内表示 庁舎への来訪者が各フロア内を周回しながら行き先を探す姿を見かける。 エレベーターから降りた時点で課名表示、東西南北等の表示を各階共通様式で設置する。又、各課入り口にダウンライトを点灯し、フロア案内を分かりやすくする。</p>	生活環境部環境対策課 係長 海野 俊之
	<p>2元バーコード(QRコード)の活用 2次元バーコードは物流管理、生産管理、顧客管理等を中心に導入が進んでいる。携帯電話のカメラでQRコードを読み取ることにより、HPにアクセスできる。 県においても携帯専用のHPを作成し、広報誌ひばりやパンフレット等にQRコードを乗せることにより、又名刺に課のHP等のQRコードを印刷し、アクセスしてもらうことにより、携帯電話を通して、県の施策や情報を提供できる。</p>	土浦土木事務所 技師 大科 憲人
	<p>第一種臨時職員等の雇用関係事務、支払事務集中化 第一種臨時職員の採用は主に年度開始前、9月等を中心に各課で行っているが、そのために多大な時間を要し、非効率である。 このため、本庁では各部幹事課が各課の要望等を聞き求人申し込みを一括で行い、各課が面接して採用する。又採用後の社会保険等の手続きも幹事課が一括して行うことで、時間のロスがなくなる。</p>	出納事務局出納第一課 課長補佐 浅野 栄一
	<p>社会保険協会費の支出合理化について 臨時職員及び嘱託職員については、各課所で健康保険適用申請をしており、事業主として扱われている。この結果、(財)茨城社会保険協会会員として個別に3,200円/年の請求を受け、大部分が支払っているものと思われる。 (1案)会員としてのメリットもないことから、全庁的に請求に応じない申し合わせをする。(他県では支払っていない例がある) (2案)窓口を一本化し、総人数で一事業所扱いとするよう交渉する。(参考; 県内A銀行は全行員を対象に一本で加入し、年会費64,000円で済んでいる。)</p>	土木部公園街路課 課長補佐 佐久間正敏